

寺報

No.584

平成28年4月

蓮華寺
行

御聖訓

法華經の一字は大地の如し、萬物を出生す。

『王日殿御返事』



(解説)

古来より、この世の全ての物は、大地より生じて大地に帰るという思想があります。

しかし、日蓮大聖人はお釈迦様が自らの結論として説かれました『法華経』こそが、この世の全ての物の生命の源であり、また仏様の永遠なる命そのものであると教えています。

つまり、我々人間の生まれ出た処も、また同時に帰る処も『法華経』なのであると。

ですから、我々は命懸け(南無)で、この我々の命の源(妙法蓮華経)を拜んでいかなければならないのです。

ここに、真剣に『南無妙法蓮華経』とお題目を唱えていく意義があるのです。

このように、我々は日蓮大聖人の御教えに従い、『法華経』と『お題目』をより多く、大きな声で唱えていく事を目標としましょう。

ただし、日蓮大聖人の御心に反し、その御教えからはずれた、『法華経』と『お題目』を唱えるのであれば、何もならないのです。

会誕降御祖宗

四月十三日(水)

午後一時より

場所…大本堂



善日磨

- *日蓮大聖人様のお誕生日の日です。
- *皆さんでお祝い致しましょう。
- *お供物を受け付けます。

『立教開宗会』のお知らせ

千葉の清澄きよすみ、当時天台宗の清澄寺せいじょうじでご修行を積まれています若き日蓮大聖人は、仏法を学んでいくうち様々な疑問が生じてきました。

言わずと知れた天台宗は、伝教大師最澄上人がお開きになり、根本經典を法華經として『天台法華宗』と称していましたが、その後「朝題目に夕念仏」といわれるように、朝に法華經を唱えたかと思ふと夕方には念仏を唱える、更に密教も取り入れるという総合宗派になってしまっていたのでした。

大聖人は、数ある教えの中で一体どれがお釈迦様の最もお説きになりたかつたものなのかとお考えになり、その疑問を明らかにしようと、比叡山を初めとして京都・奈良の諸大寺を巡り長年研究を重ねられました。その結果、法華經こそが第一の教えであると確信し、再びこの清澄の地に戻られたのです。

そして、お釈迦様の本当の教えを見つけられた喜びから、たとえどんな困難な事が訪れようと、命がけて法華經を弘めようという決意をしたのでした。

そして、ついに建長五年(一二五三)四月二十八日、御年三十二歳の時、清澄山の山頂「旭ヶ森」に立たれ遙か洋上に昇る太陽に向かい、声高らかに初めて『南無妙法蓮華經』とお題目を唱えられたのです。

いわゆる「妙法蓮華經」とは、単なるお経の名ではなく、我々が受け継いだ永遠に続く仏様の命そのものであり、この命の元に我々は「南無」と命がけて帰依しなければならぬと宣言されたのです。

日蓮宗では、この日を日蓮大聖人の教えが初めて打ち立てられ、また開宗を宣言された立教開宗の日として聖日と定め毎年法要を厳修しています。

同様に青森県宗務所でも、毎年各寺院が当番となりまして、四月二十八日には『立教開宗会』の大法要を執り行なっています。

これには、県内の僧侶のほとんどが参加して、大聖人へのご報恩のお勤めをしています。それが、今年の名誉な事に、当山が当番寺院に任命されたのです。

現在、当山の二十九世の住職を受け継いで十二年、僧侶になって四十年近くなりますが、私の記憶の中では

この『立教開宗会』が蓮華寺で開催された事はありません。

多分、その他の宗門行事が多く行われてきたのが原因だと思われませんが、その意味では今般の『立教開宗会』を無事に終らせる事は、私にとっては重要な使命だと思っています。

そこで、せっかく当山に県内からたくさんのお僧侶と檀信徒がお集まり戴きますので、蓮華寺の寺宝であります日蓮大聖人の御真筆『略御本尊』・一部が表装されました御真筆の『御遺文』・六老僧日朗上人の『御本尊』・京都妙顕寺開山の日像上人の『御本尊』・中山法華經寺開基の富木日常上人の『御本尊』を御開帳しお経とお題目を上げてもらいたいと思います。

特に日蓮大聖人の御真筆は、今まで当山でも一度も御開帳した事ありませんので、大変貴重な法要となると思われまふ。

更に、当日の法要には、雅楽ががく・声明しょうみょう・修法しゅほうが取り入れられるという素晴らしいものとなります。

是非、皆様もこの機会を逃さず参拝して戴きたいと思っております。

檀信徒研修会のお知らせ

☆四月二十三日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

*『聖典の読誦』(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間：午後七時～午後八時

場所：小本堂

持参品：聖典(事務所にて)・数珠

*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さずお経とお題目を唱え頑張つて参加して下さい。

②足の悪い方は、イスや安座にて結構です。

大本堂改修工事浄財は四月までお受け致します。

一口・・・五千円以上(随時受付中)

②御寄付の方の御芳名は大本堂内に奉納します。

『聖典の読誦と唱題行』の次第

礼拝文	「謹みて礼拝し奉る」	【4ページ】
開經偈	「無上甚深微妙の法」	【6ページ】
読經	「方便品第二」	【9ページ】
	「如来寿量品第十六」	【13ページ】
	「如来神力品第二十一」	【19ページ】
	「觀世音菩薩	

普門品第二十五

【23ページ】

陀羅尼品第二十六

【30ページ】

普賢菩薩

勸発品第二十八

【35ページ】

「夫れ懺悔は治病の」

【47ページ】

「祈禱 袴鈔」

【67ページ】

「南無妙法蓮華經」

【72ページ】

「此經難持」

【76ページ】

「導師が唱えます」

【76ページ】

「誓つて南無妙法蓮」

【77ページ】

「なむめうほうれん」

【77ページ】

以上

『朝のお勤め』のススメ

当山では、毎朝午前六時半より『朝勤会』を執り行っています。

時間は、大本堂～小本堂～位牌堂を回りまして、約一時間となっています。

聖典【お経本】を最初から順序よく読んでいきますので、どうぞご一緒にお読み下さい。

初めは難しいですが、繰り返し事段々慣れてくると思われますので、一生懸命頑張ってみましょう。

また、朝勤会に毎月の『祈願・供養』を申込みされている方には、特に朝参りをお勧め致します。

唯、お寺にお願いするのだけではなく、少しでも時間を見つけて、自らが参拝する事が大事なのです。

そしてご自宅では中々出せない大きな声で、「法華経」「懺悔文」「お題目」を唱え、祈願・供養などの願い事が早く成就するようにと、集中してご祈念して下さい。

足の悪い方は、イスや安座にても結構です。

②朝の『祈願・供養』・・・一件、一ヶ月三千円です。

☆『位牌壇』の募集!

*お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖様や仏様が今後代々に渡り守られていきます。

*ご命日の時、旅行や諸用などで不在でも、ご予約戴ければ、『位牌壇』の前に追膳をお上げし、またお経もお上げ致します。

*青森では冬期間お墓参りが出来ませんので、『位牌壇』がありますと常にお参りが出来ます。

☆『聖徒団会員』の募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞【聖徒タイムズ】・寺報等の援助などに活用します。

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

☆霊断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお、宗旨宗派は問いません。 ☎776-5840 【相談料は原則として三千円となります】

お寺からのお知らせ

当山では、次の主な仏事用品をお譲りしています。

*お塔婆

◎普通塔婆 (二千元)

◎普通幅広塔婆 (二千二百円)

◎五十回忌用塔婆 (二千七百元)

◎五十回忌幅広塔婆 (三千元)

・お寺・ご自宅で法事をする時、お塔婆をご希望の方は、その旨をお申付け下さい。

*お追膳

◎一膳 (五百円)

・お寺で法事・命日忌を行う場合ご用意します。
・位牌堂・永代供養堂にご命日にご用意します。

*日蓮宗用過去帳

◎大・三千二百円 ◎小・三千元 【書き代五千元】

*大曼荼羅御本尊

◎極小二千八百五十円から各種サイズがあります。
大きさはご相談下さい。【魂入れ代五千元】

*大荒行護符 (オブラート・一枚三百円)

*榊入大黒天 (分割可能)

◎一升榊 (手彫・六万円) (機械彫・三万五千元)

◎五合榊 (手彫・五万円) 【魂入れ・御幣代を含む】

*お経本

◎聖典 (八百円)

・ついたちのお勤め・朝のお勤め・檀信徒研修会用
◎法華経要品の訓読【日本語読み】(千五百円)
・十三日のお勤め・秋彼岸会のお勤め用

*お経のテープとCD

◎聖典用のカセット (六百円)・CD (千円)

◎十三日用のカセット (六百円)・CD (千円)

*地鎮祭用の経石

◎地鎮祭で土地に埋める経石五個 (五千元)

*起工式 (柱立て) 用の棟札

◎大黒柱に掛ける木札 (三千元)

*御首題帳

◎参拝寺院のお題目・御朱印の記入帳 (千円)

*朝光水 (身延山の目薬・六百円)

*その他・お守り・お札等

◎お守り袋・チェーン・ペット用のお守り・お札等
色々取り揃えていますのでお申付け下さい。

四月の行事

一 日(金) 盛運祈願会

午後一時より

・お守り【霊神符】の交換の日です。

・お勤めに参拝し、お題目とお経を唱えましょう。



十二日(火) 甲子【大黒様の日】

朝のお勤め中

十三日(水) 日蓮大聖人の御回向

午後一時より

・お経 如来神力品第二十一 (訓読・日本語読み)
如来寿量品第十六 (真読・漢字読み)

・檀信徒の皆様は、日蓮大聖人へのご報恩を忘れず
に参拝し、一緒にお経・お題目を唱えましょう。

十三日(水) 宗祖御降誕会

午後一時より

◎注)日蓮大聖人のお誕生日の日です。

二十三日(土) 檀信徒研修会【唱題行】

午後七時より

二十八日(木) 立教開宗会【蓮華寺】

午前十時より

☆奉仕のお知らせ

三 日(日) 倉庫整理と境内地の大清掃

男女共・・・午前十時より

*今月は、大掃除を行いますので、沢山の方々の奉仕をよろしくお願い致します。

二十八日(木) 立教開宗会の参拝とお手伝い

男女共・・・午前八時より

*当山では初めての行事ですので、参拝を兼ねまして
お手伝いをお願い致します。

◎奉仕部長・山田兼補 ◎伝道部長・小野正春

◎教宣部長・杉淵昌三

☆剣守札 (星)

星祭の剣守札 (星) をお忘れの方は、まだ受け付けていますので、お申込み下さい。



一体・・・二〇〇円

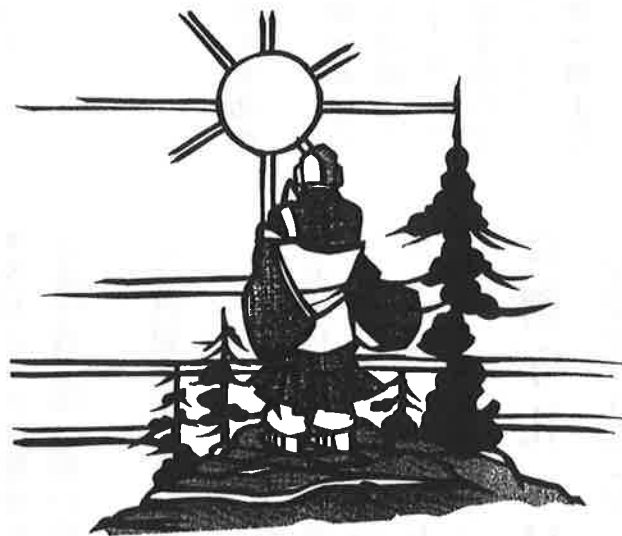
りっ きょう かい しゅう え
立教開宗会

四月二十八日(木)

(日蓮宗が開かれた日) 於：大本堂

記念法話・・・午前十時～午前十時四十分

大法要・・・午前十一時～午後十二時半



* 今般、当山ではこの法要に合わせて、門外不出の寺宝

- 日蓮大聖人御真筆『略曼荼羅』御本尊
- 日蓮大聖人御真筆『御遺文』の断片
- 六老僧・日朗上人御真筆『御本尊』
- 京都妙顕寺・日像菩薩御真筆『御本尊』
- 中山法華経寺・日常上人御真筆『御本尊』

を初めてご開帳致しますので、この機会を逃さず是非ご参拝下さい。